

---

# 歴史小説～維新以降～熊谷侯爵家の場合

蒼海颯爽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

歴史小説「維新以降～熊谷侯爵家の場合」

### 【Zマーク】

Z6361F

### 【作者名】

蒼海颯爽

### 【あらすじ】

超豪邸に暮らす熊谷侯爵家の歴史。

## 第一話

熊谷俊行侯爵の次男俊尚は側室の子供だつたが最初の正室は娘だけを産み亡くなり側室もなかなか子供が出来ずさらに異母兄（母は別の側室）も夭折したため嫡男になつた。

ところが側室は突然妊娠してしかも男児（五男）を出産してしまつ。

こうなると後継者争いは熾烈になるはずだが俊尚の生母谷口敦子は数多くの子供を産んだため正室を凌駕する権力を有していた。

側室はその後何人か子供を産んだが出産で亡くなつた。

側室の息子はその後側室の実家の分家に養子に行つた。

敦子は既に七男三女を産んでおり妊娠中でしばらくして俊久を出産してさらに翌年淑子を出産した。

俊尚は22歳の時塩原忠篤侯爵の長女の優子（16）と結婚した。

優子は俊尚と違い正室の子供だつた。

優子は三年連続で出産するが娘ばかりだつた。

優子の母極子は娘しか産んでいなかつたので優子は女腹だと言われた。

そんなある日俊尚は急病になり25歳の若さでこの世を去つた。

わずか19歳で未亡人になつた優子と幼い三人の娘は熊谷家と塩原家の話し合いで塩原家に戻つた。

そして熊谷家の跡取りは八男の俊博（14）になつた。

俊博の生母はやはり谷口敦子で八男ながら兄たちが夭折や養子になつたため嫡男になつた。

俊博はイケメンで頭も良く運動神経抜群で非常に社交的だつたがやや自己中でトラブルメーカーなところがあつた。

俊博は例にもれず名門の子女が通う修学院の中等部に通つていた。当時修学院は同性愛が大流行していて血縁関係も複雑に絡み合つていたが肉体関係も複雑に絡み合つっていた。

間もなく中3になつた俊博は中等部の新入生を次々と犯していった。

しかしながら俊博が男だけでは満足できるはずもなく高等部に入ると中等部に入つた妹の州子（母は継室）の同級生に次々と手を出してつには州子とも関係するに至つた。

時間は過ぎていき26歳になつた俊博は23歳の常田統子と結婚した。実は俊行の最初の正室多恵子は常田公爵家の出身で統子は多恵子の姪だった。

しかし多恵子は早死したため俊博も統子も会つたことはなかつた。さらに統子は州子の同級生で俊博と統子は昔関係したことがあつた。

また統子は当時23歳だったが一昔前だつたら20歳過ぎたら嫁き遅れと言われ統子はかなり嫁き遅れの部類だったが統子の世代は淫らな女学生が多くつたせいか20歳過ぎても独身の華族令嬢が多く俊博の妹も20歳過ぎてから結婚していつた。

統子も側室の子供だつたが統子の生母八重田勝子は常田公爵が正室を亡くしたため初めて作った側室だった。

そして勝子は出産で亡くなり以降常田公爵は側室を作らず子供も正室と勝子の子供しかいなかつた。

俊博と統子との間には俊毅、登茂子、富美子、亜弥子、由奈子、俊道の一男四女が誕生した。

俊道誕生時、統子は40目前の高齢出産だった。

しかしながら俊道は両親から放置気味で俊毅から溺愛された。

だがその後毅は何と俊道が統子の腹にいたころ俊博と関係したのだった。

統子の出産後も関係は続きある口統子は2人の秘事を口撃して家出をした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6361f/>

---

歴史小説～維新以降～熊谷侯爵家の場合

2010年10月9日04時54分発行